

## 府内市町村の動き

### 豊中市

■ 豊中市は、市内の10の住民団体と「集会施設の相互利用に関する協定」を締結した。

これは、自治会等が運営する集会施設と公共施設とを連携して、利用促進を図るもの。貸室可能な施設が多数ある一方で利用率に格差があることから、既存の地域資産を有効利用することで利用率を高めることが狙い。

現在、10の集会施設と8の公共施設の位置や連絡先などを記載したパンフレットの配布や、ホームページでの情報発信を行っている。

市ではこの取組を通じ、民間の協働の動きを応援したい考え。

### 大阪狭山市

■ 大阪狭山市は、バス停や道路の休憩スポットに「ひと休みベンチ」を設置する取組を始めた。

これは、個人、各種団体、事業者等からの寄付によりベンチを設置し、ベンチに寄附者の名前を記したプレートを取り付けるもの。これまでに59基を設置した。

市では、この取組を通じ、障害者や高齢者にやさしいまちづくりを推進していきたい考え。

### 阪南市

■ 阪南市は、本庁舎などの玄関マットに有料広告の掲載を始めた。

これは、本庁舎8枚と保健センター2枚のマットに広告を掲載するもので、広告主はマットの取扱会社にマットリース料と広告料を支払う。市がマット10枚分をリースした場合、年間約70万円が



必要で経費削減にもなる。

市はこの取組を通じ、経費節減と地元企業の振興にもつなげたい考え。

### 島本町

■ 島本町は、7月から文化財保護条例を施行した。

これは、町内の文化財を積極的に保存し、後世に伝えることで、住民の郷土理解と文化の向上を図ることを目的とするもの。

条例では、町の責務として文化財の適切な保存活用を定めるとともに、住民や文化財所有者等の心構えについて規定している。

町ではこの取組を通じ、住民の郷土理解を更に深め、個性豊かな郷土の歴史と文化を活かしたまちづくりの推進を図りたい考え。

## 全国の市町村の動き

### 宮城県刈田郡七ヶ宿町

- 七ヶ宿町は、今年度から「元気な地域づくり交付金事業」を始めた。

これは、町内の7つの地区ごとに地域づくりのために自由に使える交付金を交付するもの。住民をメンバーとする地域づくり委員会を組織し、年度内を目標に計画を策定、来年度以降の活動につながる。

特別職等を除く町役場の全職員を各地区の委員会担当として配置し、地域づくりの計画作成などをバックアップする。

町はこの取組を通じ、住民自らが創意工夫を生かした地域づくりを促したい考え。

### 京都府宮津市

- 宮津市と宮津商工会議所などは、「宮津ひものマップ」を作成した。

これは、地元産の魚を用いたひものをPRするもので、宮津ひもの説明のほか、購入できる市内19店舗の場所や連絡先等が記載されている。

観光案内所や旅館などで観光客らに配布する。併せて、ブランド化を後押しするため、統一の販売用包装紙やPR用ののぼりも作成した。

市などではこの取組を通じ、「宮津ひもの」や宮津産水産物の知名度を高めたい考え。

### 兵庫県新温泉町

- 新温泉町は、燃油高に特化した個別漁業者への融資制度を始めた。

これは、町が県信用漁業協同組合連合会に1,500万円を預託し、融資利率を引き下げた上で、総額

7,500万円の融資を行うもの（20トン以上漁船300万円以内、10トン以上20トン未満漁船100万円以内、5トン以上10トン未満漁船50万円以内）。

また当該融資の資金について、20トン以上漁船で3.425%以内（利子補給率2.375%以内、保証料補助率1.050%以内）、20トン未満漁船で3.205%以内（利子補給率2.375%以内、保証料補助率0.830%以内）を限度に町が利子を補給する。来年3月31日までの時限措置。

町ではこの取組を通じ、燃油高で苦しむ町内の漁業者の操業を支援したい考え。

### 岡山県笠岡市

- 笠岡市は、官民協働による地域ブランドの育成を始めた。

これは、市の特産品を「かさおかブランド」として認定し、全国発信するもの。農産物から工芸品まであらゆる有形物を対象に、生産者・事業者の応募を受けて検討委員会で認定する。

認定された特産品は、市がホームページや観光パンフレット、物産展などでPRする一方、生産者・事業者はブランドマークを商品に使用することができる。

市ではこの取組を通じ、観光振興と地域活性化につなげたい考え

